

令和元年を振り返る

新時代の幕開け 輝く1年

平成から令和となり新しい時代がスタート。資生堂をはじめ6企業が久留米市に進出するなど、明るい未来を感じさせる年となりました。柔道の素根選手やラグビーの流選手が世界を舞台に輝かしい活躍を見せました。一方で、昨年引き続き大雨災害に見舞われました。



柔道素根選手に
33年ぶりのスポーツ大賞



資生堂が進出決定
新たな雇用創出

資生堂、県、市が協定を締結。九州初進出で、国内外向けのスキンケア製品を製造します



新時代・令和がスタート

5月 本庁舎1階に天皇即位に伴う記帳所を設置。5月1日から6日までで417人が訪れました

11月 素根選手は南筑高校を卒業後、岡山市の環太平洋大学に進学。8月の世界柔道選手権東京大会、11月の柔道グランドスラム大阪で金メダルを獲得し、柔道五輪代表に内定しました



7-8月

記録的な大雨で中小河川が氾濫。3年連続で大雨特別警報が発表されました

2カ月連続で大雨災害



久重作のからくり人形がばね遺産に

田中久重の代表作の一つ文字書き人形。そのばね技術は、今日の機械やロボット機構につながっています

6月



日本福音ルーテル久留米教会
国登録有形文化財に

大正7(1918)年に完成し、ポータブル建築としては九州で最古。礼拝堂とれんが塀が、国登録有形文化財になりました

9月

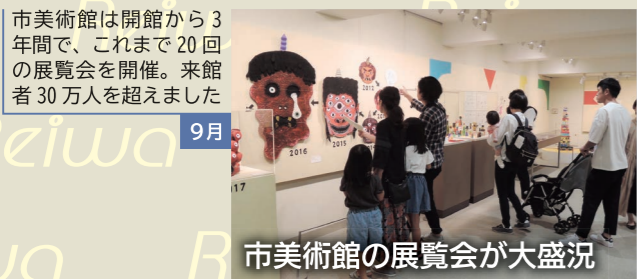


久留米市制施行130周年記念式典

市制施行130周年

4月

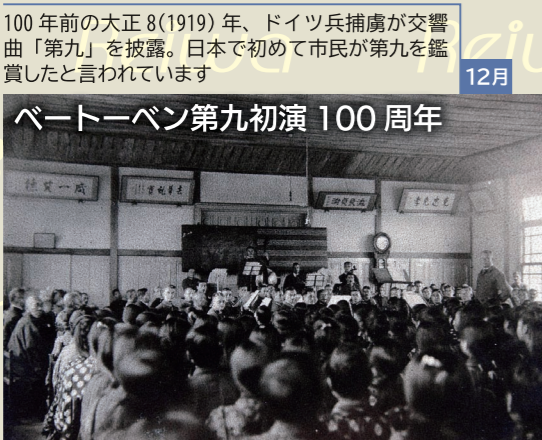
明治22(1889)年に市制施行。130周年を祝う記念式典には、約1,000人が参加し、住みやすさ日本一・久留米への思いを新たにしました



市美術館は開館から3年間で、これまで20回の展覧会を開催。来館者30万人を超えました

9月

市美術館の展覧会が大盛況



100年前の大正8(1919)年、ドイツ兵捕虜が交響曲「第九」を披露。日本で初めて市民が第九を鑑賞したと言われています

12月

ベートーベン第九初演 100周年



11月

牟田山中学校出身の流選手は、日本で初開催のラグビーワールドカップ2019の代表に。全試合スタメン出場し、大活躍しました

流大選手ラグビーW杯
ベスト8進出に貢献

主な出来事

1月 シン・ゴジラ撮影監督の山田康介さんがふるさと大使に

2月 資生堂が進出決定
スポーツ奨励賞・シユニアスポーツ賞18人8団体が受賞

3月 鍵水パイパスが開通

4月 青木繁旧居の来館者10万人を突破

久留米市制施行130周年を迎える
久留米広域消防本部と大川市消防本部が統合

古賀若菜選手が全日本選抜柔道体重別選手権大会で優勝

市議会議員選挙で36人が当選

5月 令和スタート。婚姻届に149組
記帳に417人が来庁

12中小河川を避難基準に追加

安武三反野遺跡から甕棺墓22基が出土し現地説明会を開催

7月 トップアスリート強化指定選手に17人を認定

観測史上最大、24時間雨量335.5mmを記録する豪雨が発生

アンテナショップ福岡久留米館が開館

8月 古賀若菜選手がインターハイで3連覇

3日間で8月平均降水量の倍の大雨が発生

9月 市美術館の来館者数が30万人を突破

日本福音ルーテル久留米教会が国登録有形文化財に

ラグビーW杯で流大選手が大活躍

10月 幼児教育・保育の無償化スタート

台風19号が全国各地で猛威。姉妹都市郡山市に職員派遣・大久保勉市長が訪問

線虫でがん検査の実用化に向けHIROTSUバイオサイエンスへの支援を開始

11月 ゆるキャラグランプリでくるっぴが全国9位

流大選手をはじめ4人にスポーツ功績賞

素根輝選手が33年ぶりのスポーツ大賞を受賞。東京五輪柔道日本代表の内定第1号に

12月 ベートーベン第九の初演から100周年を記念した演奏会を開催